

GAKUJO REPORT

スカウト型就職サイト会員数No.1「あさがくナビ2022」登録会員対象

2022年卒学生就職活動意識調査レポート

2021年8月発表

東証一部上場

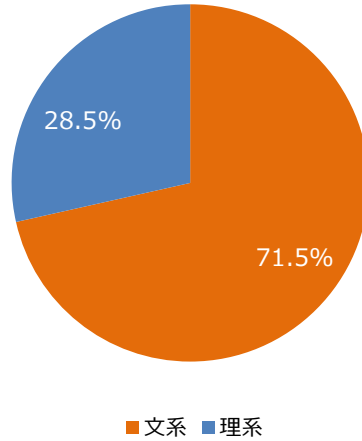


【調査概要】

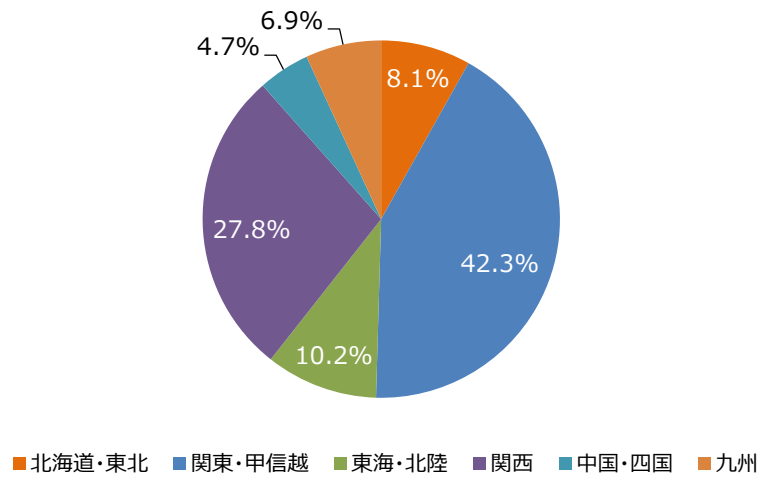
- 調査内容：就職活動意識調査
 - 調査対象：あさがくナビ2022登録会員
 - 有効回答数：642件
 - 調査期間：2021年6月21日～6月30日
 - 調査方法：Web上でのアンケート
 - 前年比較データ調査期間：【2021年卒(2020年6月22日～6月30日)、2022年卒(2021年4月15日～4月30日)】
- ※レポート内の各項目の数値は小数点第二位を四捨五入し小数点第一位までを表記しているため、択一式の回答の合計が100.0%とならない場合があります。

【回答者属性について】

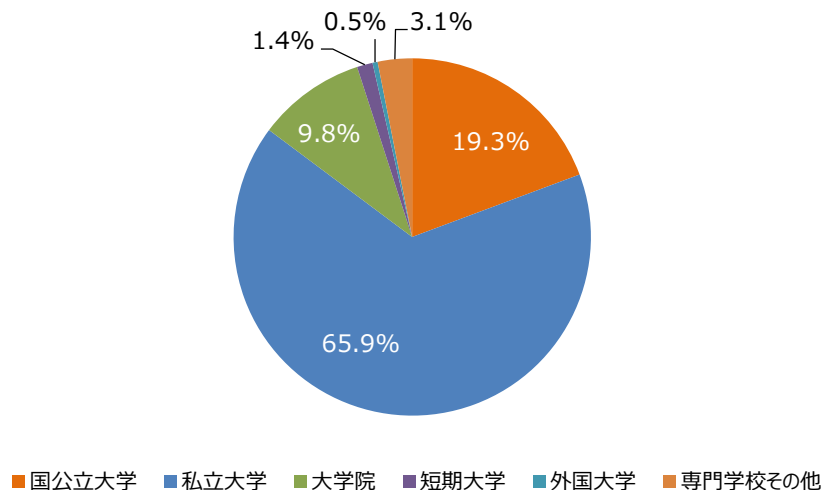
■文理



■現住所の地域



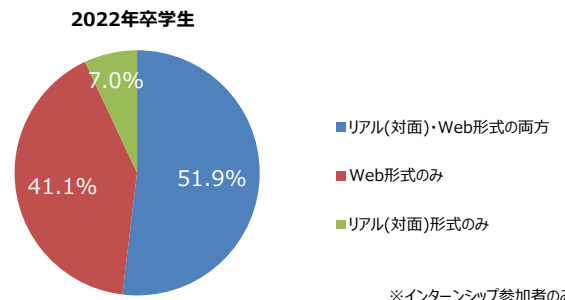
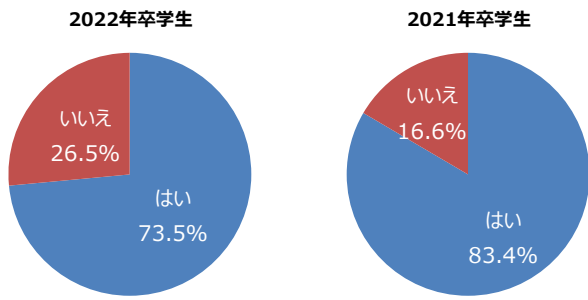
■学校区分



【インターンシップについて】

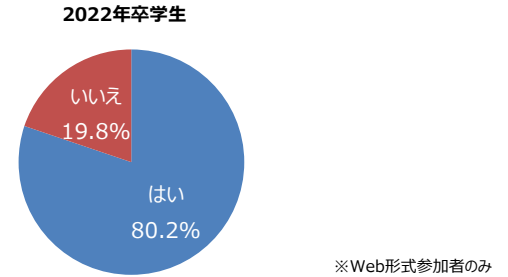
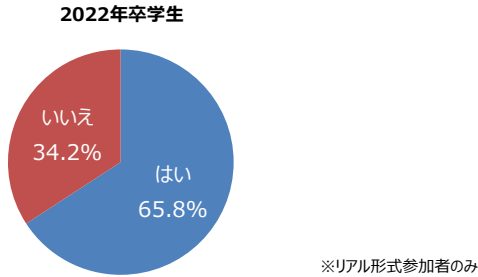
■ インターンシップ(Webインターンシップを含む)に参加しましたか？(単一回答)

■ 参加したインターンシップの形式を教えてください。(単一回答)

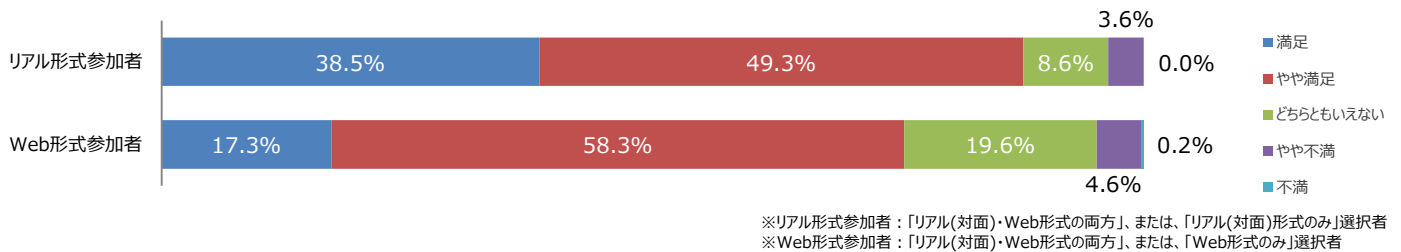


■ リアル形式参加企業のうち、選考に進んだ企業はありますか？(単一回答)

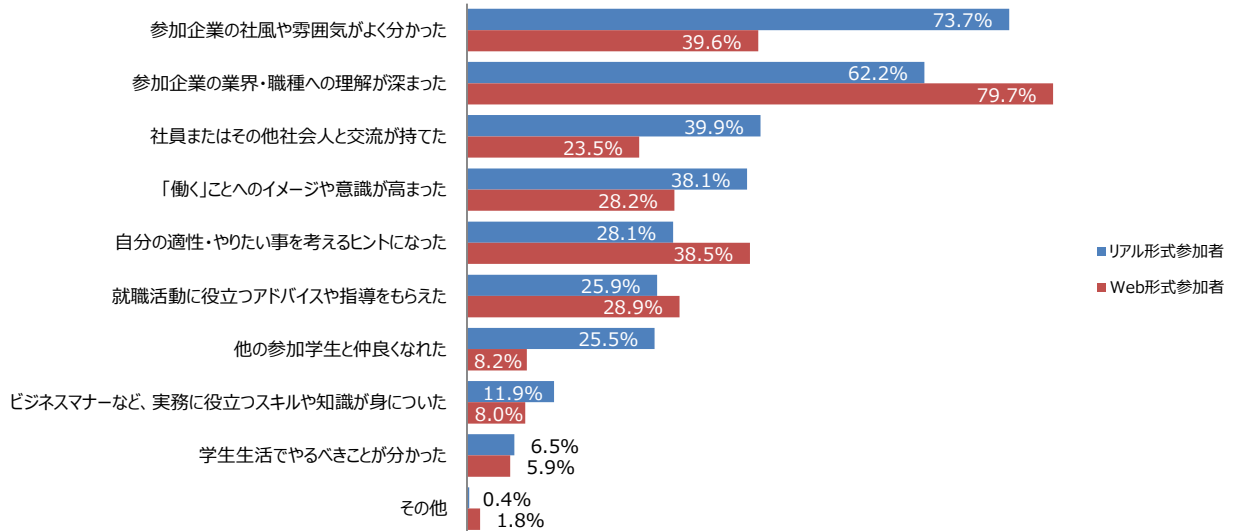
■ Web形式参加企業のうち、選考に進んだ企業はありますか？(単一回答)



■ リアル形式/Web形式の参加したインターンシップに対する満足度を教えてください。(単一回答)



■ リアル形式/Web形式のインターンシップに参加し、良かった点を教えてください。(複数選択可)



インターンシップに参加した学生は、昨年より9.9pt減少の73.5%。参加したインターンシップの形式に関しては、「リアル・Web形式の両方」が51.9%、「Web形式のみ」が41.1%となり、Web形式のインターンシップ参加者が多い事がうかがえる。選考に進んだ企業の有無についても、リアル形式参加者(65.8%)を、Web形式参加者(80.2%)が上回る結果となった。

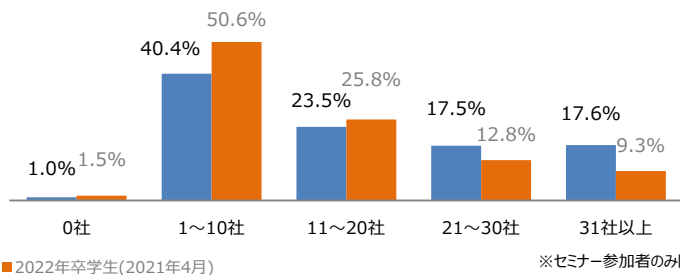
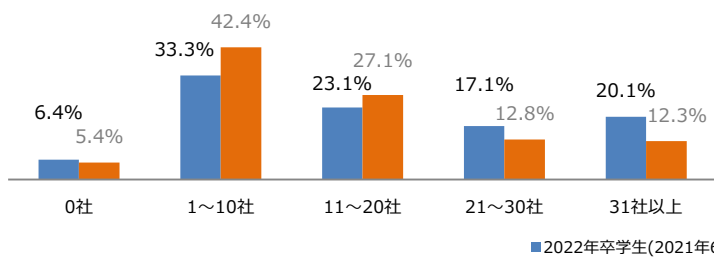
また、各形式の満足度を質問したところ、「満足(満足+やや満足)」と回答したのが、Web形式参加者(75.6%)よりも、リアル形式参加者(87.8%)が高いという結果になった。

インターンシップに参加し良かった点としては、形式により大きく差が出ており、リアル形式では、「参加企業の社風や雰囲気よく分かった(Web形式比34.1pt差)」、「他の参加学生と仲良くなれた(同17.3pt差)」、「社員またはその他社会人と交流が持てた(同16.4pt差)」となり、Web形式では、「参加企業の業界・職種への理解が深まった(リアル形式比17.5pt差)」、「自分の適性・やりたい事を考えるヒントになった(同10.4pt差)」となり、参加形式によって特徴が現れている。

【就職活動について】

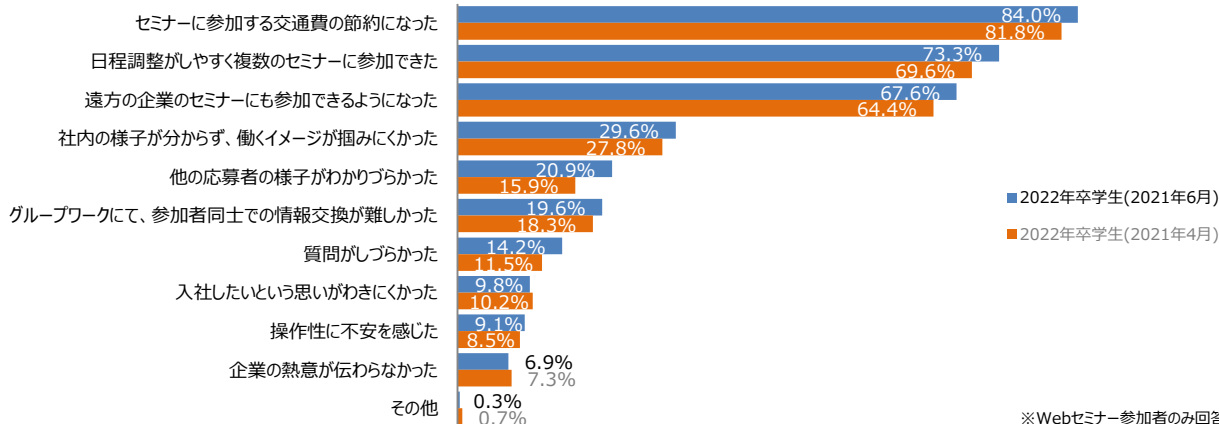
■ 現在までのセミナー参加社数(Webセミナーを含む)をお教え下さい。(単一回答)

■ そのうち、Webセミナー参加数をお教え下さい。(単一回答)



※セミナー参加者のみ回答

■ Webセミナーに参加してみて、どう感じましたか？(複数選択可)

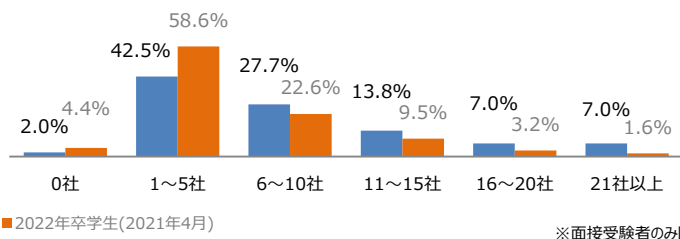
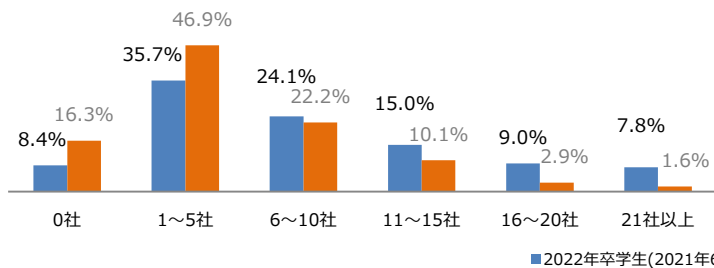


※Webセミナー参加者のみ回答

Webでのセミナー参加者に対して、参加してどう感じたのかを質問したところ、84.0%の学生が「セミナーに参加する交通費の節約になった」と回答。次いで「日程調整がしやすく複数のセミナーに参加できた(73.3%)」、「遠方の企業のセミナーにも参加できるようになった(67.6%)」と続く。費用・時間・場所の制限なく、セミナーに参加しやすくなっていることを好意的に受け止めているものの、「社内の様子が分からず、働くイメージが掴みにくかった(29.6%)」、「グループワークにて、参加者同士での情報交換が難しかった(19.6%)」など、Web開催における課題も浮き彫りになった。

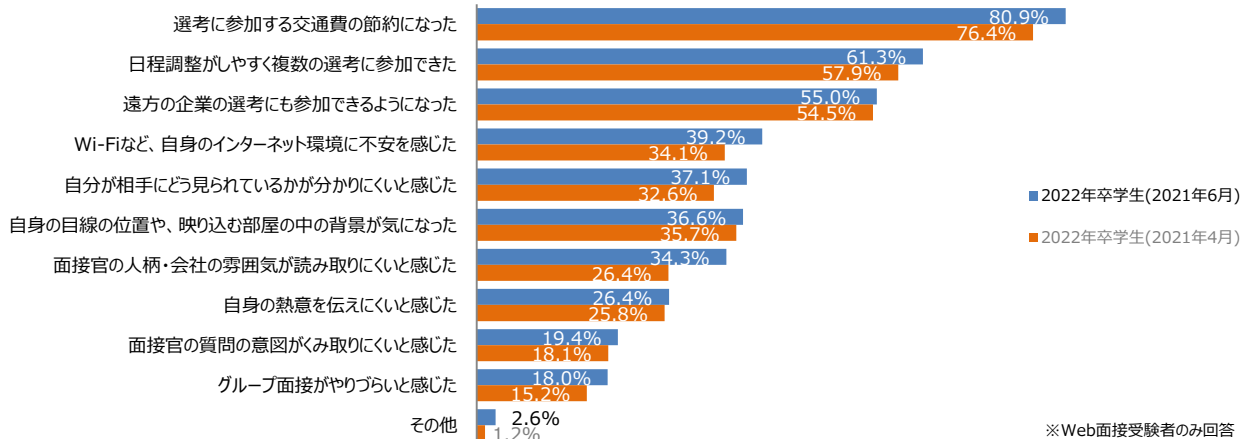
■ 現在までの面接受験社数(Web面接を含む)をお教え下さい。(単一回答)

■ そのうち、Web面接受験社数をお教え下さい。(単一回答)



※面接受験者のみ回答

■ Web面接に参加してみて、どう感じましたか？(複数選択可)

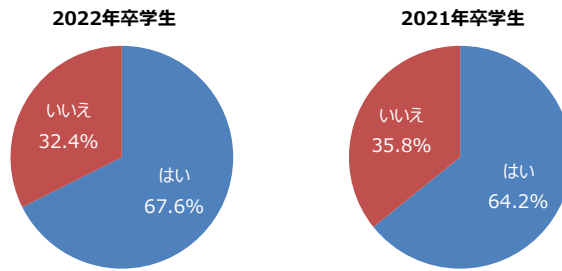


※Web面接受験者のみ回答

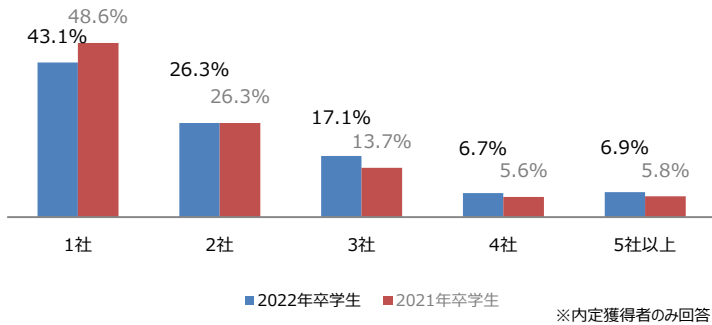
Webでの面接参加者に対して、参加してどう感じたのかを質問したところ、Webセミナーと同じく、最多は「選考に参加する交通費の節約になった(80.9%)」であった。次いで「日程調整がしやすく複数の選考に参加できた(61.3%)」、「遠方の企業の選考にも参加できるようになった(55.0%)」と続く。Webセミナーと同様の課題はあるものの、費用・時間・場所の制限なく、選考に参加しやすくなっていることを好意的に受け止めているものの、「面接官の人柄・会社の雰囲気が読み取りにくいと感じた(34.3%)」、「自身の熱意を伝えにくいと感じた(26.4%)」など、Web開催における課題も浮き彫りになった。

【内定(内々定)状況について】 ※以下、内定(内々定)は内定に統一

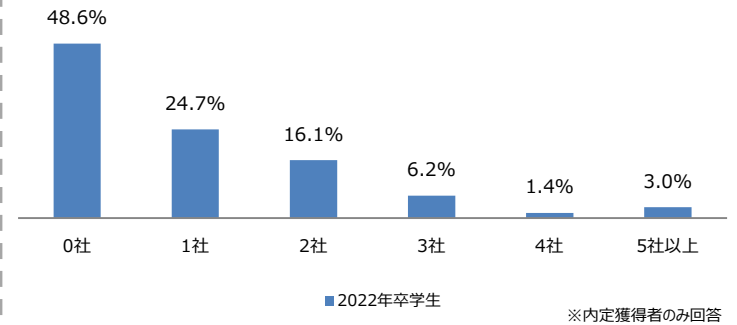
■現在「内定」はお持ちですか？(単一回答)



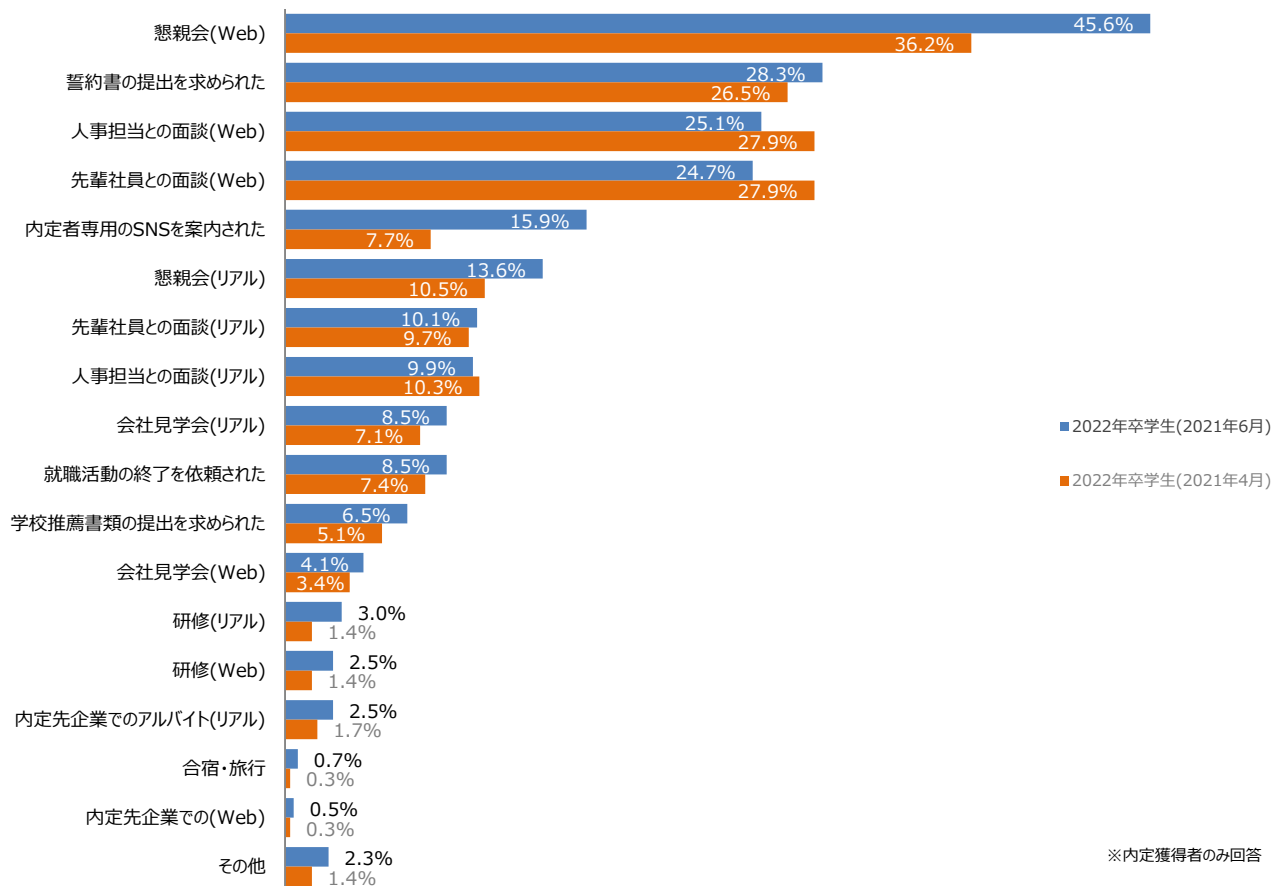
■現在までの内定獲得社数をお教え下さい。(単一回答)



■内定を辞退した社数をお教え下さい。(単一回答)



内定先企業から懇親会などフォロー対応はありましたか？(複数選択可)

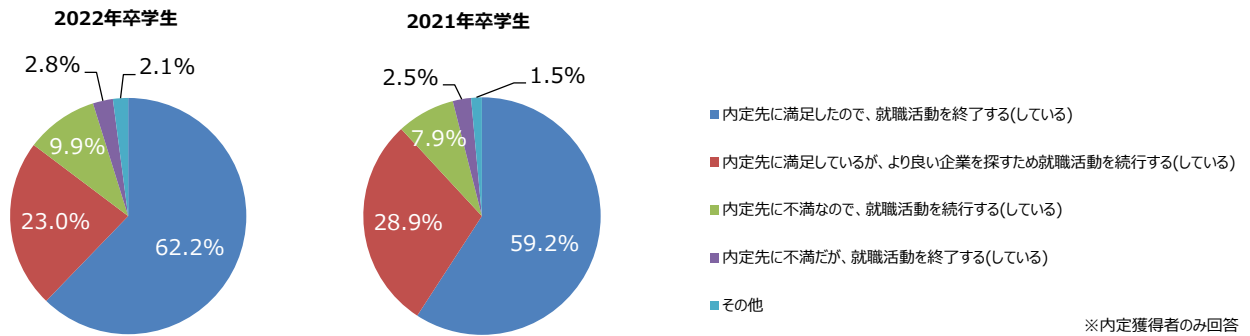


6月末時点において、内定を得ている学生は、昨年より3.4pt増加の67.6%。

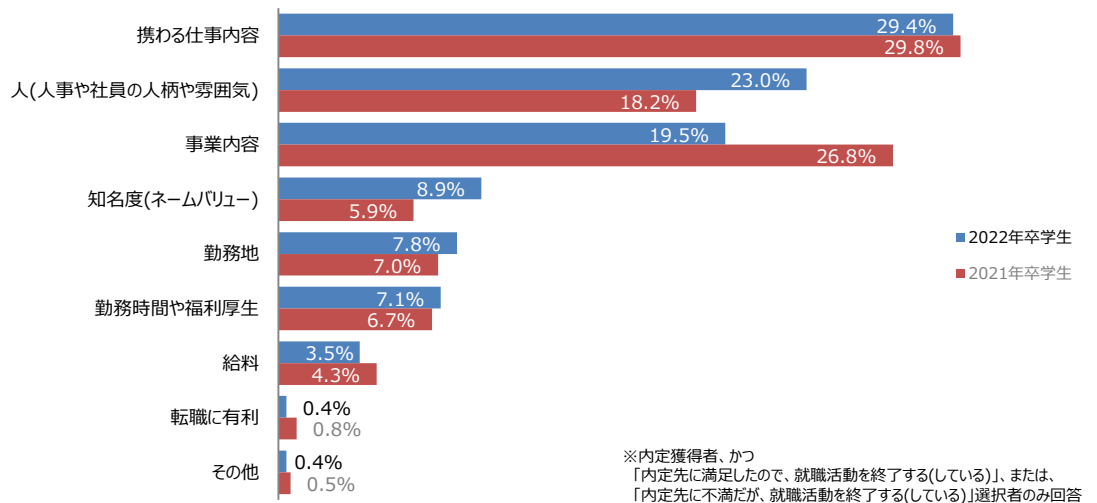
内定獲得社数は「1社」が最多で43.1%。「3社」「4社」「5社以上」がいずれも昨を上回り、複数社から内定を得る学生が増加した。内定辞退社数は、48.6%が「0社」と回答。

4月調査時と比較した内定先企業からのフォロー対応については、「懇親会(Web)」が45.6%と9.4ptの伸びが見られた。「内定者専用のSNSを案内された」も8.2pt増加の15.9%となった。また、「人事担当との面談(Web)」、「先輩社員との面談(Web)」が2021年4月調査時より減少したが上位に挙げられている。新型コロナウイルスの影響でリアル(対面)のコミュニケーションが図りづらいため、Web上でのコミュニケーションを積極的に行っていることがわかる。

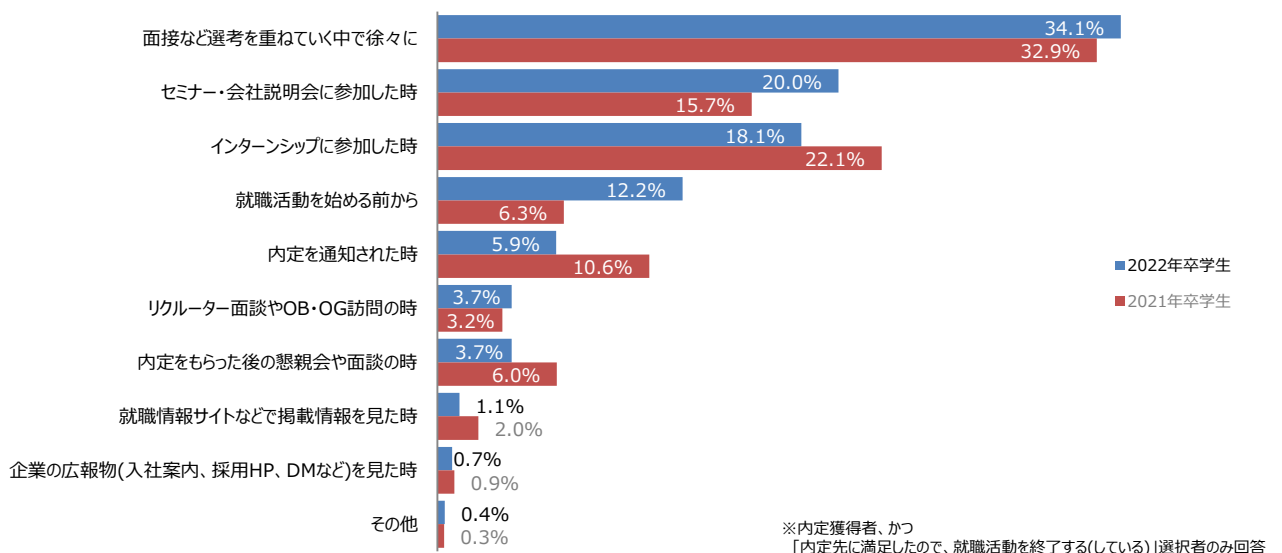
■現在の活動状況を教えてください。(単一回答)



■内定先企業に決めた理由として特に当てはまるものを教えてください。(単一回答)



■内定の企業で働きたいと強く思ったタイミングはいつですか？(単一回答) ※複数獲得している場合は、最も入社意思が強い企業について教えてください。



内定獲得者に対し、現在の活動状況は、「内定先に満足したので、就職活動を終了する(している)」が62.2%と昨年より3.0pt増加。新型コロナウイルスの影響も依然あるが、既に内定を得ている学生は、半数以上が満足して就職活動を終えているようだ。

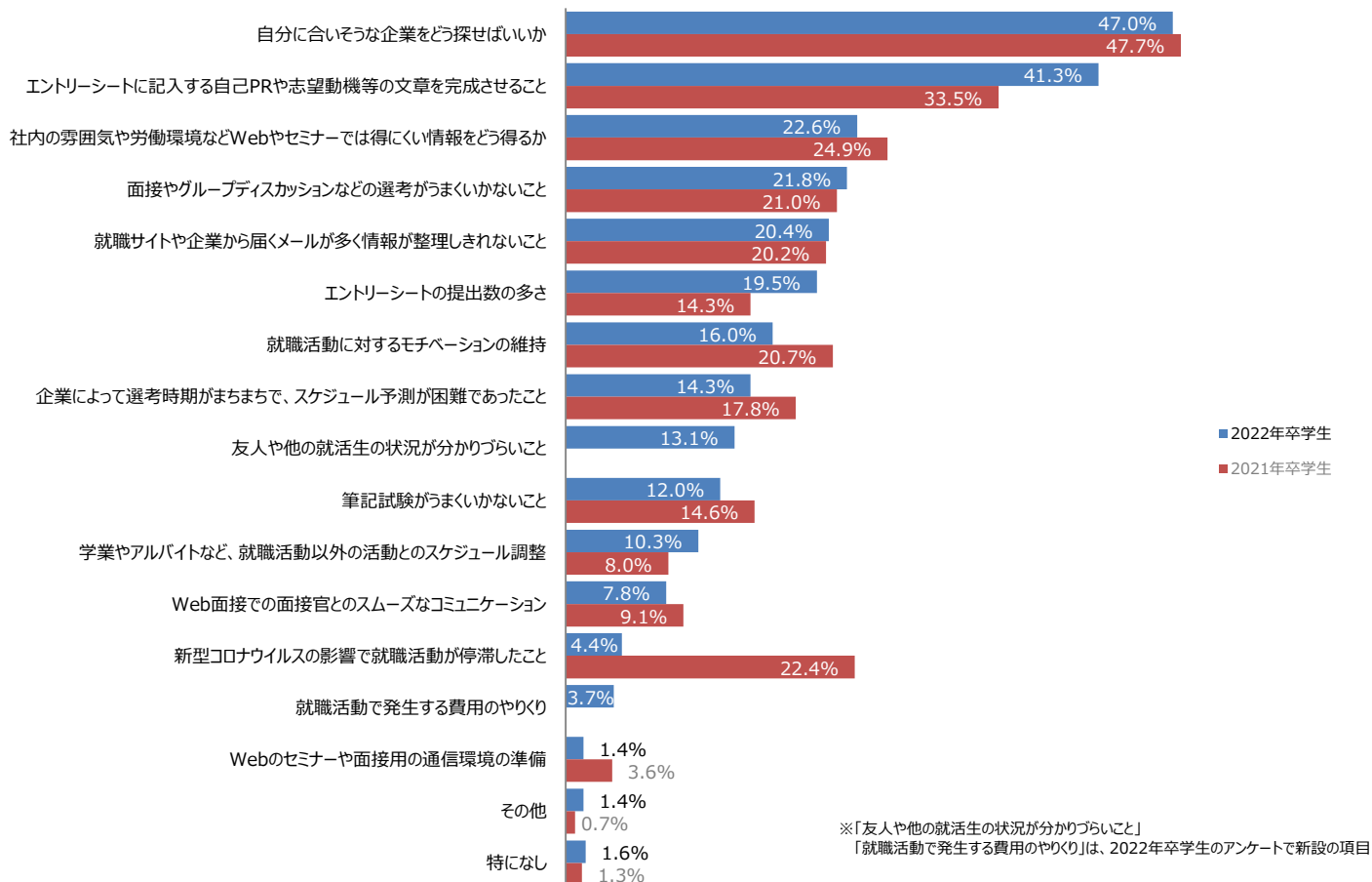
内定先企業に決めた理由としては、「携わる仕事内容」が29.4%で昨年同様に最多。次いで「人(人事や社員の人柄や雰囲気)」が4.8pt増加の23.0%で続く。「事業内容」は7.3pt減少の19.5%となり、企業の事業内容というよりも個人の職務内容を重視しているように見受けられる。

内定を得た企業で働きたいと強く思ったタイミングとして、「面接など選考を重ねていく中で徐々に」が34.1%と昨年より1.2pt増加。選考の中でコミュニケーションを重ねていくことで、志望度があがる傾向にあるようだ。

また、昨年より5.9pt増加の12.2%の学生が「就職活動を始める前から」を選んでおり、興味があった企業を事前に調べており、入社したい企業を絞ってアプローチしているようだ。

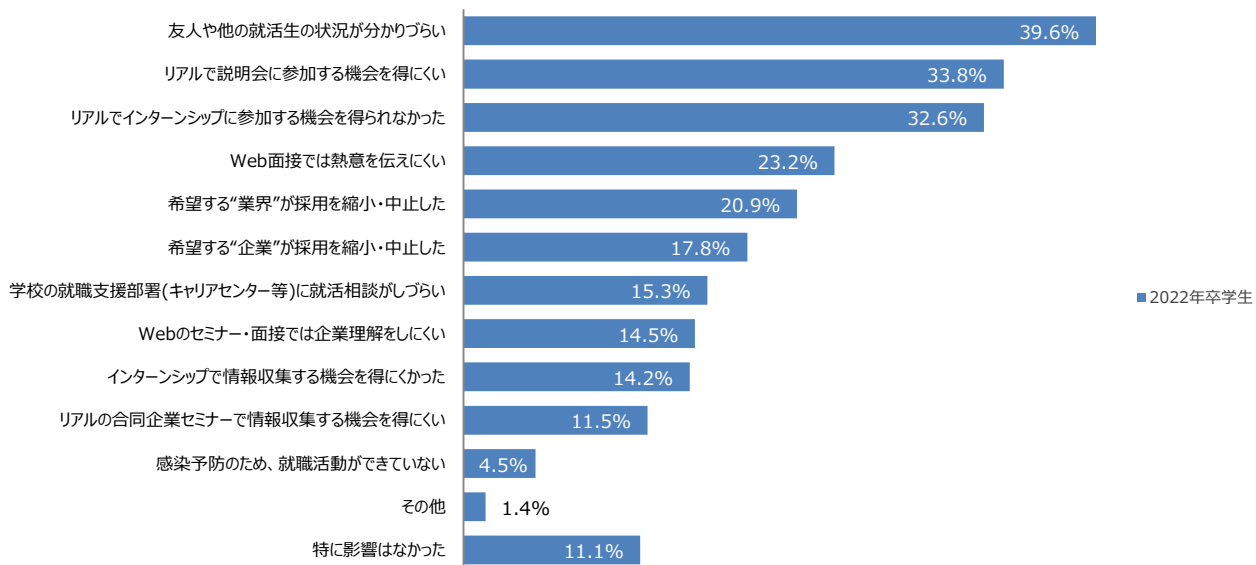
【就職活動の振り返り】

■これまでの就職活動の中で苦労したこと、大変だったことを教えてください。(最大3つまで選択)



就職活動の中で苦労したこととして、「自分に合いそうな企業をどう探せばいいか」が47.0%と昨年より減少したが最多。次いで、「エントリーシートに記入する自己PRや志望動機等の文章を完成させること(41.3%)」、「社内の雰囲気や労働環境などWebやセミナーでは得にくい情報をどう得るか(22.6%)」と続く。また、「新型コロナウイルスの影響で就職活動が停滞したこと」が18.0pt減少の4.4%となり、2021年卒学生に比べ、コロナ禍での企業側の採用活動が停滞せず、スムーズに進んだようだ。

■新型コロナウイルスによって、就職活動にはどのような影響がありましたか？(複数選択可)

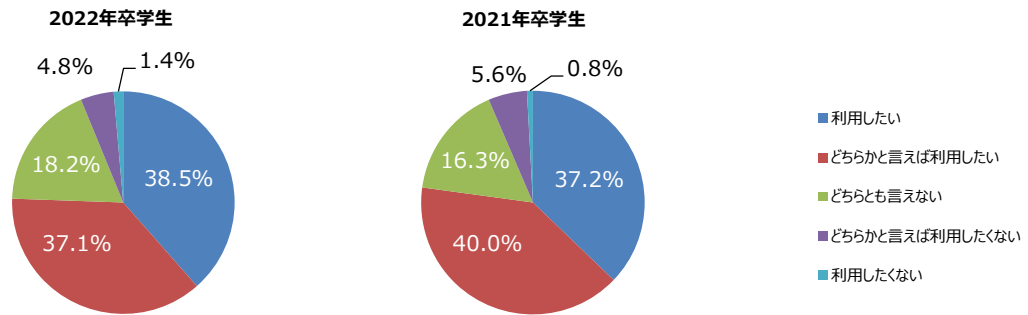


新型コロナウイルスが、就職活動にどれほど影響を与えているかは、「友人や他の就活生の状況が分かりづらい」が39.6%で最多。周りの就職活動状況が見えづらいことに不安を感じているようだ。

「リアルで説明会に参加する機会を得にくい」が33.8%、「リアルでインターンシップに参加する機会が得られなかった」が32.6%となり、リアル(対面)での参加機会を得られなかったことに影響を受けたと感じている事がうかがえる。

【働き方について】

■テレワークや在宅勤務の制度があれば利用したいですか？(単一回答)



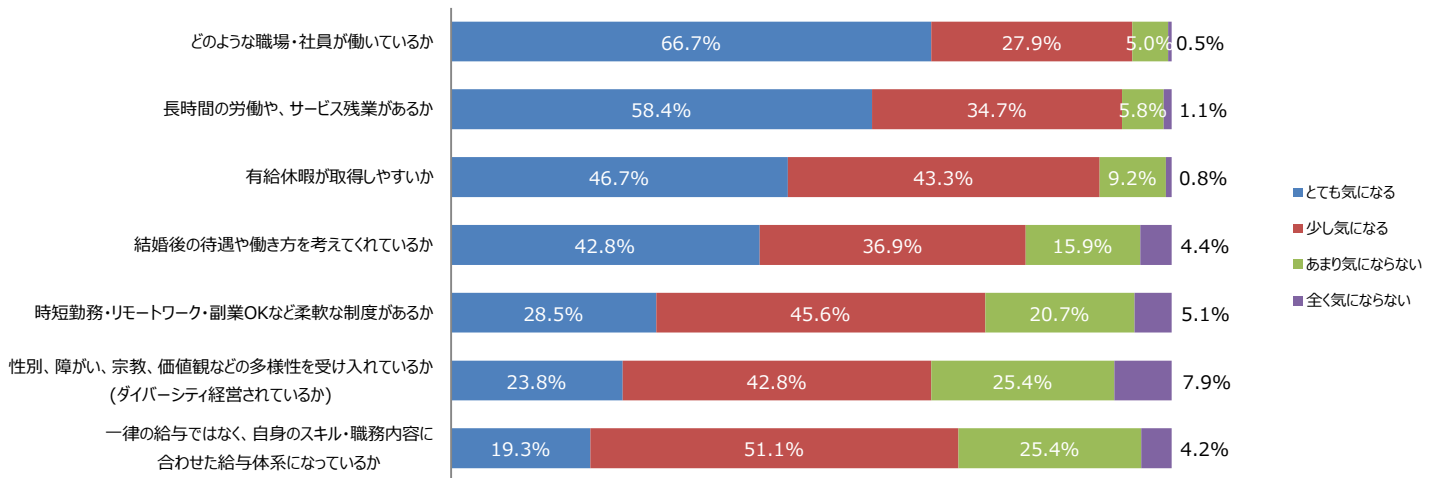
テレワークや在宅勤務の制度があれば利用したいかの質問では、「利用したい」が38.5%で最多に。「どちらかと言えば利用したい」も含めると、75.6%の学生は、テレワークや在宅勤務の制度があれば利用したいと思っているようだ。

“利用したい・どちらかと言えば利用したい”の理由としては、「新型コロナウイルスの感染対策になるから」といった意見が多かったが、「交通費・移動時間の節約になるから」、「在宅で仕事が行えるなら、出社する必要性を感じないから」、「ワーク・ライフ・バランスを重視しているので、調整しやすいと思う」、「Webでの授業や就職活動に慣れ、Webを活用することに抵抗感があまりないため」という意見も挙げられた。

“利用したくない・どちらかと言えば利用したくない”の理由としては、「新入社員のころは、周りに質問できる先輩がいてほしい、かつ、信頼関係を築きやすいから。ワーク・ライフ・バランスを考え、柔軟に取り入れることはいいと思うが、人間関係が希薄になるため、全面テレワークの会社は選ばない」、「コミュニケーションを図る上でWebでは新たな関係を築きづらい」、「Webになってから学業への意欲が下がってしまっているため、在宅勤務は自分には向いていないと思う」といった意見が挙げられた。

“どちらとも言えない”の理由としては、「コロナが蔓延している地域ではテレワークを利用したいが、そうでなければ対面で社員の方と関わりたいので利用したくない」、「テレワークに対するイメージが掴めていないから」、「職種や仕事内容によってできる、できないがある」、「周りとのリアルなコミュニケーションが取りづらく、不便なこともありそうだから」という意見が挙げられた。

■働き方に関して、気になるポイントは何ですか？(単一回答)



働き方に関する気になるポイントとして、「とても気になる」という回答を最も集めたのは、「どのような職場・社員が働いているか」が66.7%で最多。次いで「長時間労働や、サービス残業があるか」が58.4%、「有給休暇が取得しやすいか」が46.7%と続く。「とても気になる」・「少し気になる」を合わせると、上記3項目を9割の学生が気にしている事がわかる。

弊社サービスに関するお問い合わせ

東証一部上場

学情



サービスサイト

< <https://service.gakujo.ne.jp/> >



採用活動に役立つお役立ち資料

< <https://service.gakujo.ne.jp/documents> >

東証一部上場

学情

10820003(12)

【東京本社】
【大阪本社】
【名古屋支社】
【京都支社】
【福岡支店】

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-3 東京宝塚ビル7F
〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-10 学情梅田コンパス
〒460-0008 名古屋市中区栄2-3-6 NBF名古屋広小路ビル8F
〒600-8008 京都市下京区四条通烏丸東入ル長刀鉾町8 京都三井ビルディング3F
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル8F

TEL : 03-3593-1500 (代)
TEL : 06-6346-6861 (代)
TEL : 052-265-8121 (代)
TEL : 075-213-5611 (代)
TEL : 092-477-9190 (代)